

地域再発見講座 「阿賀野川ものがたり」 第2回を今春開催！

様々な「阿賀の宝もん」を通じて、阿賀野川流域の歴史・生活・文化などの光と影を地元の方々とともに発掘し学ぶ地域再発見講座「阿賀野川ものがたり」。

第1回目は「川からの恵みが暮らしを支えた」と題し、平成21年3月14日、道の駅「阿賀の里」(阿賀町石間)を会場に開催しました。地元から「阿賀よ再び蘇れ」著者の神田栄さん(阿賀町)と鉤流し漁の名手、加藤準一さん(五泉市)をゲストに迎え、サケ・マス漁の今昔や阿賀野川のことについて語り合いました。午後からは、新潟大学名誉教授の大熊孝さんの講演。昼食には阿賀の恵みをふんだんに用いた「阿賀の里」特製お弁当も登場し、大好評でした。

第2回講座を今年3月下旬に開催予定。詳しくは次号やブログで随時お知らせしていきます。乞うご期待！



「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域がかつて発生した新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え〜とこだ！憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。

(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

「阿賀野川え〜とこだ！ブログ」ぞくぞく更新中

紙面では紹介しきれない阿賀野川流域の魅力や、このプロジェクトの最新情報が、管理人「メグミ」の阿賀野川な日々(主に食欲関係)と共に綴られています。ぜひご覧ください！



<http://www.aganogawa.info/>

編集後記

創刊号はいかがでしたか？創刊準備号の発行から、1年近く経過してしまいました。本当はもっと早く、流域の皆さんの元へお届けしたかったのですが…。でも、その分、「草倉銅山パネル展」など…地域の皆さんと共に育み、阿賀野川流域から収穫できたこれまでの活動成果を、どっさりお届けできたように思います。

さて、紙面をご覧になられての皆さんのご意見・ご感想をお待ちしております。また、「草倉銅山」に負けじと、阿賀野川や流域にまつわる「奥ぶか〜い歴史」、「え〜とこだ！情報」、「キラリと光るお宝情報」などなど、どしどしお寄せください。次号は3月発行予定です。ご期待ください！

阿賀野川え〜とこだより 創刊号

発行：新潟県(2010年1月15日)

企画編集：阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会 <事務局/〒959-2221 阿賀野市保田3866-1>

TEL.&FAX.0250-68-5424 E-mail aganogawa@niigata.email.ne.jp